

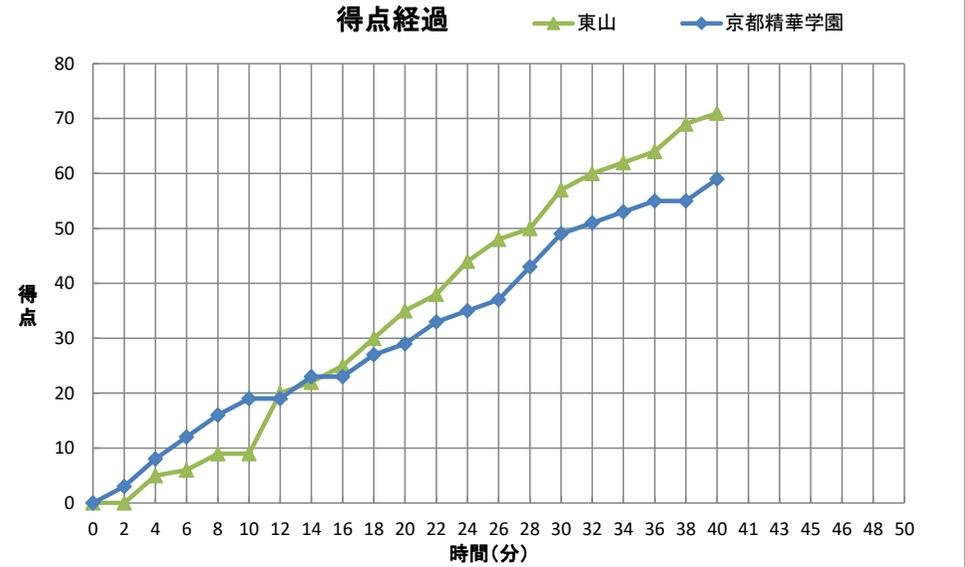


令和6年度全国高等学校総合体育大会京都府予選 兼
第71回近畿高校バスケットボール大会京都府予選

個人トータル表

男子		6月8日				14:00 開始																			
決勝		山城総合運動公園体育館																							
◎ 東山		71		<table border="1"> <tr><td>9</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>26</td><td>2nd</td><td>10</td></tr> <tr><td>22</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>10</td></tr> </table>				9	1st	19	26	2nd	10	22	3rd	20	14	4th	10	59		京都精華学園			
9	1st	19																							
26	2nd	10																							
22	3rd	20																							
14	4th	10																							
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則												
4	松島 慎弥	2	0	1	0	4	00	翁長 佑誠	-	-	-	-	-												
* 5	瀬川 琉久	21	2	5	5	4	* 6	上野 叶翔	10	0	5	0	1												
* 6	カンダ マヒカ サロモン	6	0	2	2	2	* 7	善山 莞太	13	1	4	2	3												
* 7	南川 陸斗	4	0	2	0	1	11	内山 煌和	-	-	-	-	-												
8	小野寺 星夢	5	1	1	0	0	* 13	新開 温矢	25	0	10	5	3												
9	新井 伸之助	-	-	-	-	-	14	西村 晴太	0	0	0	0	0												
10	瀧川 隼汰	-	-	-	-	-	15	西本 圭汰	-	-	-	-	-												
* 11	佐藤 凪	25	4	5	3	3	17	善山 奏介	-	-	-	-	-												
12	藪 元太郎	2	0	1	0	0	19	竹村 寅治郎	-	-	-	-	-												
13	大本 純弥	-	-	-	-	-	21	杉原 拓	-	-	-	-	-												
* 14	中村 颯斗	6	0	1	4	2	* 23	東郷 然	5	1	0	2	2												
15	ウエトラ ブワシャ エノック	0	0	0	0	0	32	中村 太優	-	-	-	-	-												
16	伊藤 温太郎	-	-	-	-	-	34	キモナ ディエウ	4	0	2	0	3												
17	藤原 洋輝	-	-	-	-	-	35	山崎 燦吾	-	-	-	-	-												
18	川口 律	-	-	-	-	-	* 77	ソロモン レイモンド	2	0	1	0	5												
コーチ	大澤 徹也					0	コーチ	山崎 翔一朗					0												
Aコーチ	山崎 健太郎						Aコーチ	常谷 拓真																	
合計		71	7	18	14	16	合計		59	2	22	9	17												
主審: 富島 健司																									
副審: 加藤 毅																									
副審: 大溝 貴広																									

得点経過



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	10:50	19:57	35:06	38:35	:	:	:	:

〔戦評〕

第1Q 2年連続の京都制覇を目指す東山と京都精華学園(以下、精華)の顔合わせとなった決勝戦。両チーム、縮まったディフェンスでのゲームスタート。精華#7のスティールからのバスケットカウントで精華が先制。東山は#5のフリースローで得点。精華は#7の3Pで勢いに乗るが、すぐに東山の#5がドライブで応戦。精華#6の巧みなステップからのレイアップで得点すると、対する東山は#14のドライブからのバスケットカウントで点差を詰める。精華は粘り強いディフェンスを展開した後、#13のジャンパーで点差を広げる。なかなかリズムに乗れない東山に対し更に精華#13がジャンプシュートを決める。精華は泥臭いルーズボール争いにも勝ち勝ち#6が更に得点。対する東山は#11がこの試合チーム初の3Pで重たい空気を払拭しようとするが、すぐさま精華#7がペイントエリア内へのドライブで得点すると、#23の3Pで10点のリードを奪う。9-19の精華リードで第1Q終了。

第2Q東山#5のゴール下の得点で第2Qがスタート。その後、力強いディフェンスからの#11の2連続スリーポイントで、第2Q開始50秒で一気に流れを掴み2点差まで詰め寄る。精華はたまたずタイムアウトをとるが、タイムアウト明けにすぐさま東山#11が3本目のスリーポイントを決めて東山が逆転。精華は東山の固いディフェンスに対してタフショットが続く。精華#23のフリースロー、東山#5のドリブルジャンパーで得点が動くが、その後は両チームともに集中力の高いディフェンスを見せ、試合は拮抗状態に。その試合を動かしたのは東山#5のテクニクに溢れるドリブルからのジャンプシュート。さらに東山はリバウンド争いで奮闘した#6がファウルから得たフリースローを1本決めたところでディフェンスをオールコートゾーンプレスに変更。その後、精華#6の速攻からの得点、東山#5の3P、精華#13のジャンパー、東山#11のフローターで両チームが点を取り合う展開に。そんな中、相手の隙を見逃さなかった東山#11がスティールから得点して5点リードにするが、精華はすぐさま#13のドライブで応戦。35-29の東山6点リードで第2Q終了。

第3Q精華#77の得点で後半がスタート。東山は#11を起点にした巧みなパスワークから#5が3Pを沈める。対する精華は#13のフリースローやオールコートゾーンプレスディフェンスへの変更等で3点差に詰め寄る。東山は速攻からの#7の得点で一気に速い展開のゲームを作り出し、#11のドライブ、速攻での#5の得点、#6のリバウンドからの得点で11点リードに。そこからは精華がゾーンプレスからの#6の得点、東山#7のリバウンドからの得点、精華#13の速攻のレイアップでの得点等で両者が譲らない試合展開に。精華はゾーンプレスディフェンスで粘り強く良い展開を作り出し、速攻で#13が得点し5点差に。しかしすぐに東山#8の3Pを決めるが、第3Q終了間際に精華#7のゴール下シュートが決まり、49-57の東山8点リードで第3Q終了。

第4Q両チームマンツーマンでスタート。東山#11のドリブルジャンパーで第4Qの得点動き出す。精華#13が鋭いドライブからのレイアップで応戦。次は東山#6が力強くゴール下にドライブをしたところで精華#77がたまたずファウル。そこから東山#5のフリースロー、精華#13の速攻からの得点があるもののなかなか点差が動かない。そんな中、東山#4が力強いペネトレイトを見せて再度11点差に。試合時間残り4分台になったところで精華タイムアウト。タイムアウト明けに精華はディフェンスをハーフコートゾーンに変更。代わって入った#34の速攻で得点する等、粘りを見せる。東山#11がファウルを受けながらのジャンプシュートを決めたところで、ここがポイントと判断した東山は精華#13に対するディフェンスの圧力を強める。精華の得点が止まったところで#5のフリースロー等で点差を広げる。試合時間残り1分25秒、精華が最後のタイムアウト。その後、精華は#7、#34の得点などで粘りを見せるが東山は最後まで冷静にゲームを進め、2年連続のIH予選京都王者となった。

戦評: 立命館高校 青山 晋平 記録: 京都八幡高校 堀田 寛